

多面的機能支払制度の取組状況等 について

令和2年2月18日

1. 多面的機能支払交付金について

制度の概要

区分		支援対象組織	主な支援対象活動	交付対象農用地	10a当たり交付単価	備考
農地維持支払		農業者等で構成する組織	・草刈り、水路の泥上げ等	農振農用地 ＋ 市町村が必要と認める農地	田：3,000円 畑：2,000円 草地：250円	
資源向上支払	共同活動	農業者及びその他の者で構成する組織	・水路、農道等の軽微な補修 ・景観形成活動 ・防災の強化 等	農振農用地のみ	田：2,400円 畑：1,440円 草地：240円	※以下の場合、交付単価は75% ・5年以上継続している組織 ・共同活動と施設の長寿命化を一緒に取り組む組織 ※その他加算措置あり
	施設の長寿命化	農業者及びその他の者で構成する組織	・水路等の補修、更新	農振農用地のみ	田：4,400円 畑：2,000円 草地：400円	・広域活動組織でなく、かつ直営施工を実施しない場合基礎単価の5/6単価 など

活動期間

活動期間は原則として5年間
・第2期（R1～R5）

負担割合

国 1 / 2、県 1 / 4、市町村 1 / 4

2. 農地維持支払の取組状況

富山県目標値

○農地維持支払

令和8年度に、農業振興地域内農業集落数の8割の1,600集落が取組むことを目標とする。

富山県の令和元年度の農地維持支払取組状況（推定値）※6月末確定

- 取組集落 : 1,389集落（H30年度1,418集落）
- 取組面積 : 41,472ha、取組率74%
（H30年度 41,979ha、取組率75%）

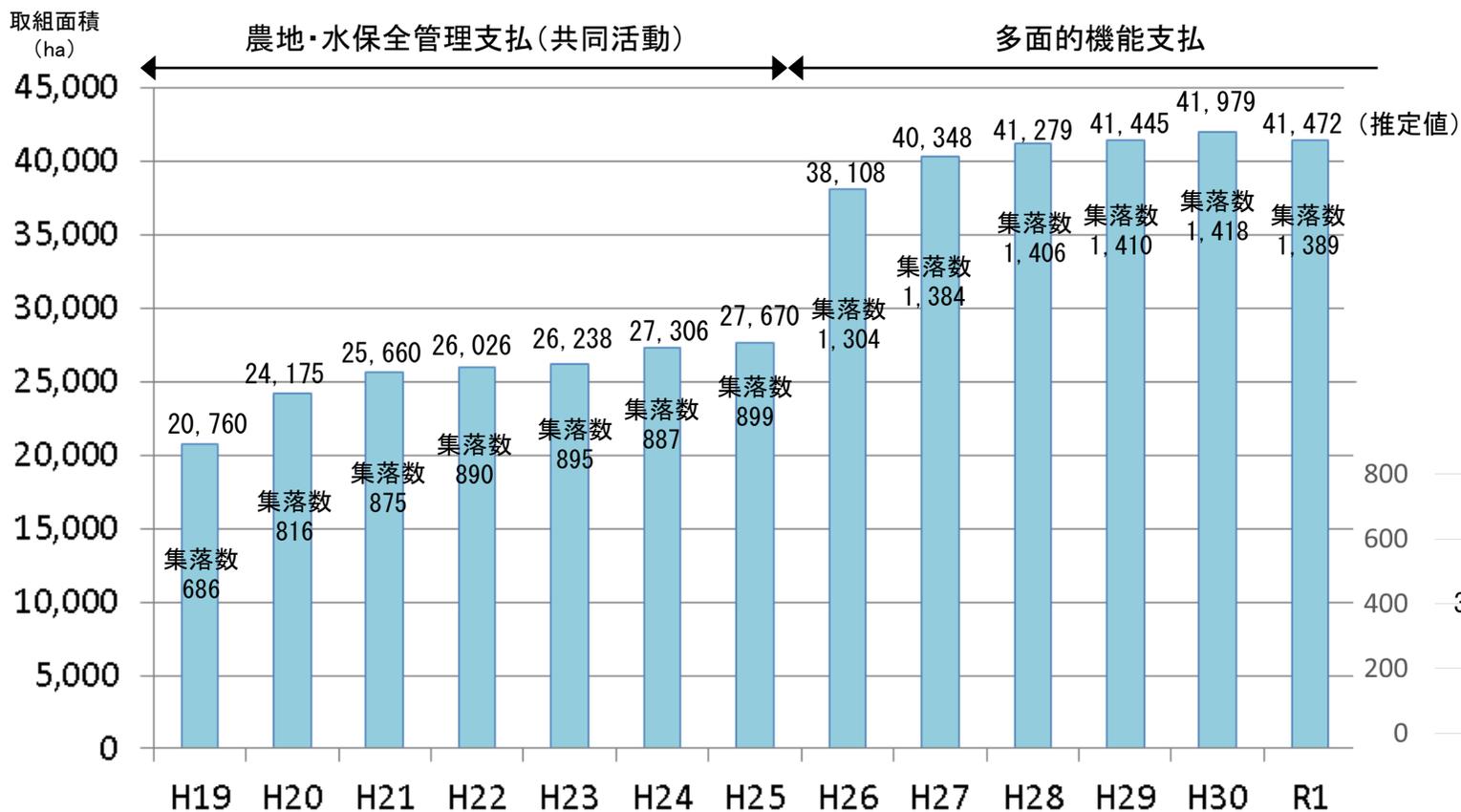
H30全国平均55%、本県の取組率は全国第3位

3. 農地維持支払の県内の取組状況の推移

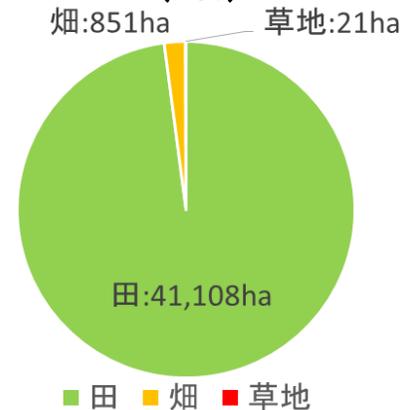
- ・令和元年度の取組面積は、前年度比で約1.2%減少する見込み。
- ・地目別に見ると取組面積の98%を田が占めている。
- ・農振農用地以外の農地における取組※が増加している。

※平成26年度より、農振農用地と一体的に取り組む必要があると認められる市街化区域内の農地等も交付対象となった。

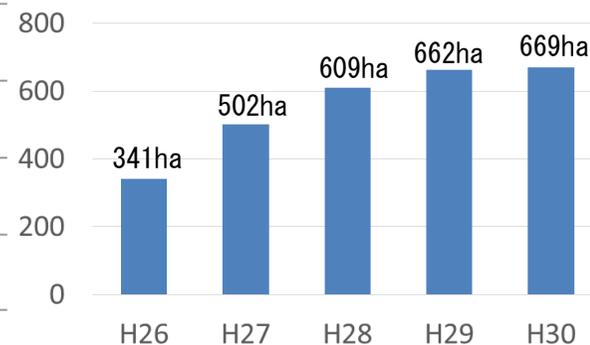
○年度別取組面積(集落数)の推移



地目別取組状況 (H30)



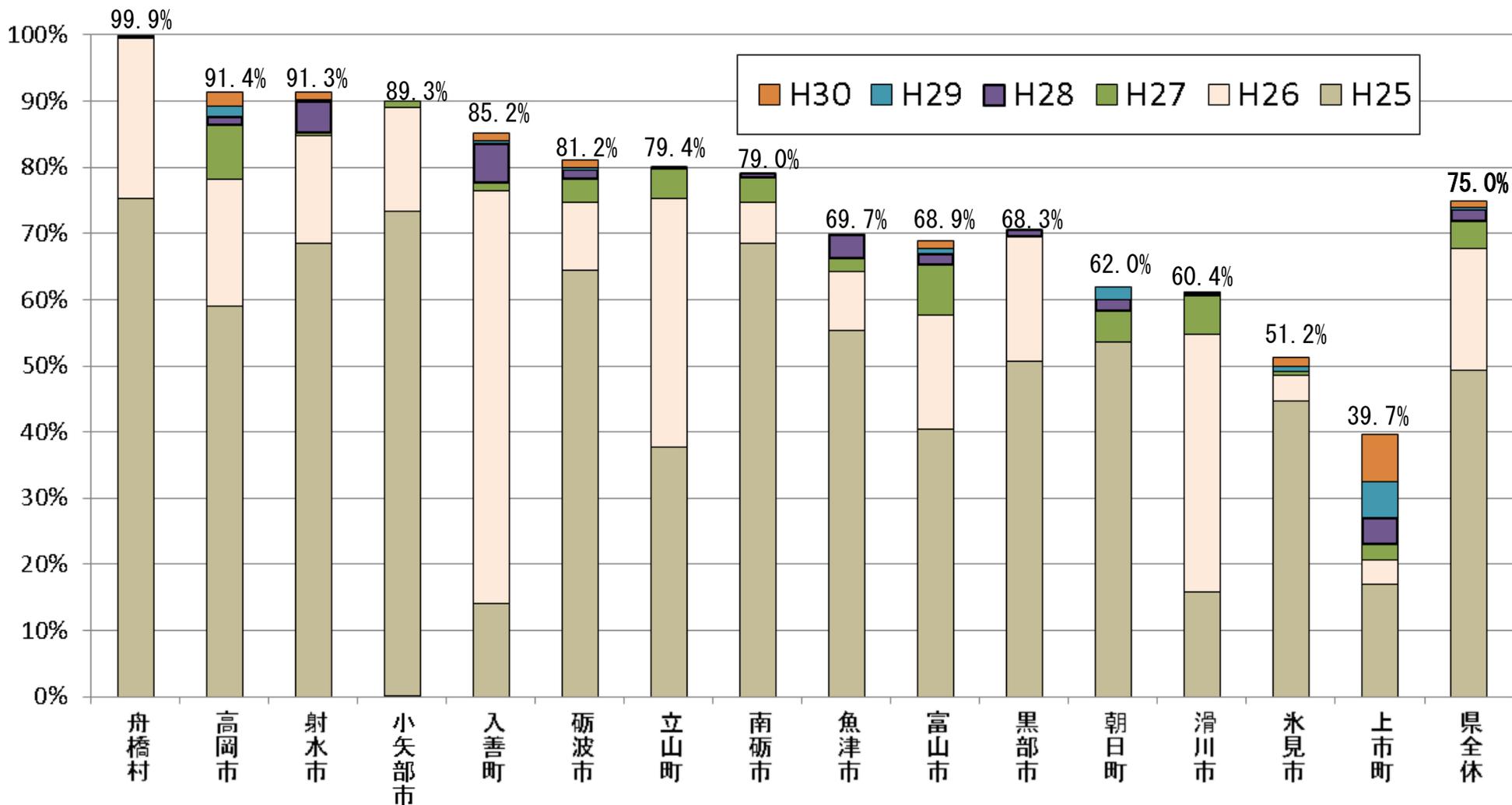
農振農用地以外での取組



(R1. 12月末時点)

4. 市町村別の農地維持支払の取組状況

・取組率は地域ごとに格差が見られる。



①農地維持支払の取組み

農業者等で構成される活動組織で行う、水路の泥上げや農道の草刈等の地域資源の基礎的保全活動等を支援する。

【交付対象面積】 H30 : 40,206ha → R1 : 39,720ha

【交付単価】 田3,000円/10a、畑2,000円/10a、草地250円/10a

※1,418集落（1,030組織）で実施（H30実績）



地域ぐるみによる草刈り



水路の泥上げ

②資源向上支払(共同活動)の取組み

地域住民を含む活動組織が行う、農道・水路等の軽微な補修や幅広い農村環境保全活動等を支援する。

【交付対象面積】 H30 : 35, 234ha → R1 : 34, 884ha

【交付単価】 田2, 400円/10a、畑1, 440円/10a、草地240円/10a

※1, 192集落(882組織)で実施(H30実績)



美しい景観形成のための植栽活動



水路の目地補修

③資源向上支払(施設の長寿命化)の取組み

老朽化が進む農地周りの農業用排水路、農道などの施設の長寿命化のための補修・更新等の活動に対し支援する（平成23年度より）。

【交付対象面積】 H30：12,610ha → R1：12,463ha

【交付単価】 田4,400円/10a、畑2,000円/10a、草地400円/10a

※396集落（280組織）で実施（H30実績）



水路の補修・更新

5. 富山県多面的機能推進協議会について

【令和元年度の活動内容】

○4月25日 通常総会

○11月12日 富山県多面的機能支払推進研修会の開催

- ・カバープランツによる畦畔・法面の管理について
(講師：東京農工大学大学院 教授 藤井義晴 氏)
- ・富山県における農業用水路の安全対策について
(講師：富山県農林水産部農村整備課)

○ホームページの管理、活動事例調査

○構成員

富山県、市町村、富山県農業会議、JA富山中央会、
富山県土地改良事業団体連合会



6. 取組事例 ー 1

「黒河地区環境保全会」 (射水市)

R1年度「元気とやま」むらづくり推進大会で知事賞受賞

○取組面積: 93.6ha ○構成員: 農業者、自治会、老人会、児童クラブ等

○農道法面(約900m)に様々な色のシバザクラを植栽している。植栽には、老人会、児童クラブ、地元ハンドボールチームの選手等、毎回100名以上が参加しており、地域の活性化に努めている。

○遊休農地(約30a)を活用してそばを栽培し、収穫後にそば打ち体験等を行う「そば祭り」を開催し、地域コミュニティの強化に繋げている。



シバザクラの植栽



そば打ち体験

6. 取組事例 -2

「大沢野広域活動組織協定運営委員会」(富山市)

R1年度「元気とやま」むらづくり推進大会で知事賞受賞

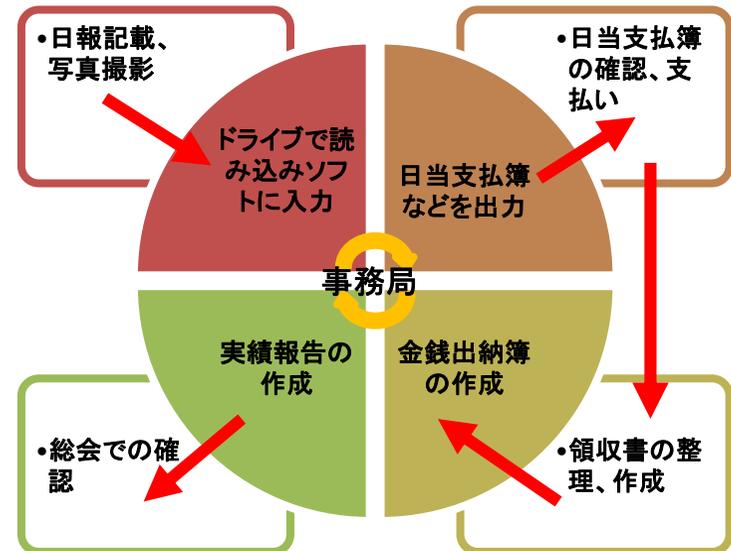
○取組面積:341.3ha ○14活動組織で構成

○広域活動組織に参加する全組織合同で、学校と連携した田植え体験や稲刈り体験を実施し、世代間・集落間交流を積極的に行っている。

○事務処理を支援する専用ソフトを導入し、事務手続きの簡素化に努め、構成している活動組織の負担軽減を図っている。



看護学校の学生と連携した田植え体験



事務作業の流れ

7. 令和2年度の取組方針

令和元年度は取組面積が減少したことから、取組面積拡大に向けた推進活動を展開する。

○市町村と連携した推進活動を実施。

①活動組織の広域化

- ・ 広域活動組織設立に向けた説明会の実施
- ・ 関係機関との調整 等

②既存活動組織への支援

- ・ 事務支援システム導入推進
- ・ 事務委託の体制整備
- ・ 活動期間終了を迎える活動組織への働きかけ
- ・ 企業、学校等と連携した人的支援の検討 等

③未取組集落の掘り起こし

- ・ 未取組集落への説明会の実施
- ・ アンケート調査 等

○その他、活動組織リーダーを育成するための研修会の開催、活動事例の収集・発信を実施。